

平成 16 年 10 月 22 日

## 国際学術コミュニケーション委員会

### SPARC/JAPAN プロジェクト活動報告

平成 16 年度 SPARC/JAPAN プロジェクトの総会以降の活動について、以下のとおり報告します。

#### 1. プロジェクト会議及び説明会・セミナー等の開催状況

##### 1) プロジェクト打ち合わせ

7 月 5 日(月)(メールによる会議)

- ・ 今年度の活動内容の確認と作業分担について検討

8 月 27 日(金)(国立情報学研究所)

- ・ 大学図書館におけるオープンアクセス運動の位置づけに関する意見交換
- ・ ワークショップの開催(広島大学、国立情報学研究所との共催)企画検討
- ・ 国内学協会の英文誌所蔵調査の実施検討

##### 2) 国立情報学研究所との協議等

第一回運営委員会(5月28日(金)/国立情報学研究所)

- ・ 平成 16 年度事業計画、事業参画学協会の募集を決定

学術コミュニケーションに関する検討会議(8月27日(金)/国立情報学研究所)

- ・ 国際学術情報流通基盤整備事業との連携、ワークショップの開催等

第二回運営委員会(9月15日(水)/国立情報学研究所)

- ・ 平成 16 年度国際学術情報流通基盤整備事業参画提案の選考

学会誌に関わるワークショップ企画打合せ(9月15日(水)/国立情報学研究所)

- ・ 学協会を中心としたワークショップの開催企画検討(尾城、山下参加)

学会誌に関わるワークショップ企画打合せ(9月24日(金)/国立情報学研究所)

- ・ ワークショップの企画内容の検討(尾城参加)

##### 3) 各種説明会及びセミナー等

国際学術情報流通基盤整備事業説明会(7月7日(水)/国立情報学研究所)

- ・ NII 主催、51 学会等参加、公募要領等を説明
- ・ プロジェクトメンバーの尾城千葉大学情報サービス課長が講演

大学における学術情報資源の整備～電子ジャーナル時代の学術コミュニケーションの変革～(シンポジウム)(9月16日(木)/京都大学附属図書館)

- ・ 京都大学附属図書館主催、参加者 185 名
- ・ プロジェクトメンバーの尾城千葉大学附属図書館情報サービス課長が講演

学会出版と学術コミュニケーション活動の変革(シンポジウム)(10月15日(金)/広島大学附属図書館)

- ・ 広島大学附属図書館、国立情報学研究所、国立大学図書館協会国際学術コミュニケーション委員会共催

プロジェクトメンバーの木村富山大学附属図書館情報サービス課長が講演  
DPubS Conference(10月19~20日/米国コーネル大学)

- ・ コーネル大学図書館主催
- ・ プロジェクトメンバーの木村富山大学附属図書館情報サービス課長が参加  
どうする日本の学会誌！ - 緊急ワークショップ(仮)(10月19日(火)/早稲田大学中央図書館)
- ・ 主催：日本動物学会、国立情報学研究所、後援：私立大学図書館協会、国立大学図書館協会ほか

## 2. 本プロジェクトの主な活動内容

### 1) Create Change (日本語訳版) の改訂作業

本年4月に米国 SPARC の Create Change が一部改訂されたことにより、2002年に作成した日本語訳版 Create Change の改訂作業を行った。

### 2) 米国 SPARC に新たに “ Open Access ” のパンフレットが作成されたことにより、このパンフレットの日本語訳版を作成し、国立大学図書館協会の HP に掲載した。

### 3) 説明会等の広報活動への参加及びシンポジウム等の開催企画

国立情報学研究所の活動と連携して、学会との意見交換、説明会及びシンポジウム、国際会議等で、学術コミュニケーションに関する説明・講演などの啓発・調査活動を行った。また一部その企画にも参加した。(上記開催状況参照)